

しまだ議会だより

Shimada City Council Newsletter

平成28年2月定例会の内容をお届けします。

2016
No. 53

平成28年5月13日発行



特集

島田樟誠高等学校
応援団
&
市議会

特集

島田樟誠高等学校 応援団 & 市議会

小学校に出向き
応援を披露することを
通して交流している
島田樟誠高等学校応援委員会の
皆さんにお話を伺いました。



子どもたちに、
大きな声を出すことの

大切さを感じてほしい

島田樟誠高等学校応援団(応援委員会)

は、去る2月1日、川根小学校に出向き、
応援を子どもたちに披露し、交流を持ち
ました。

川根小学校の子どもたちは、迫力ある
大きな声にびっくりし、大喜びでした。

《応援団員の人数は何人ですか?》

音楽担当のブラスバンドも入れて55人
います。

《普段はいつ練習していますか?》

委員会活動なので、毎日昼休みに練習
しています。練習時間が短く足りないの
で大変です。

《校外での活動はありますか?》

小学校への訪問は年1回で、昨年は伊
太小学校に行きました。

また、秋に3年生が掛川駅からゴミ拾
いをしながら島田駅まで歩き、1・2年生
が島田駅で出迎える行事をやっています。
これ以外には、県内の応援団フェステ
バルに参加しています。



《小学生の前で応援を披露して、

いかがでしたか？》

よい経験になりました。

また、「大きな声でびっくりした、かっこよかった」など、多くの感想を子どもたちからもらい、嬉しかったです。

《高校生として、

18歳選挙権をどう思いますか？》

よくわかりません。

友達と話題にすることはあります。

《応援団に入っただうでしたか？》

人間教育の場で、自信が持てるようになりしました。高校に入るまでは大きな声を出すのが苦手でしたが、ここで大きな声が出るようになりました。

中学までいい加減でしたが、応援委員会・学校・部活は全て集団行動なので、これが学べてまわりを見ることができるようになりました。

人としての礼儀作法も学ぶことができ、日常生活に張りができました。部活も応援もがんばろうと思っています。

子どもたちとの交流を大切にする応援団の皆さん、ありがとうございました。

定例会 の 概要

平成28年度

一般会計と特別会計予算可決!!

平成28年第1回定例会が、2月17日(水)から3月25日(金)まで、38日間の会期で開催されました。



2月17日(水) 本会議初日 19議案上程

平成27年度一般会計補正予算、特別会計補正予算6件、水道・病院事業の企業会計補正予算2件、条例改正6件、静岡市への消防事務の委託など一般議案4件の計19議案が上程されました。

2月18日(木)～19日(金) 常任委員会の議案審査

総務消防・厚生教育・経済建設の各常任委員会に分かれ、17日に上程された補正予算等の議案について、各委員会が半日ずつ分散開催による審査を行いました。(8～10ページ)

2月26日(金) 本会議 19議案可決・33議案上程

17日に上程された19議案を全て可決しました。
続いて、平成28年度一般会計当初予算、特別会計当初予算8件、事業会計当初予算2件、条例改正18件、過疎地域自立促進計画策定など一般議案4件の計33議案が上程されました。

3月7日(月)～9日(水) 一般質問 議員16人が登壇

4会派の代表議員による代表質問と、議員12人による個人質問を行いました。(11～19ページ)

3月10日(木) 議案質疑 議員8人が登壇

議案について当局へ質問しました。

Pick up 4と、「これに注目!」へ (5ページ)

3月11日(金)～15日(火) 常任委員会の議案審査

平成28年度当初予算案等について、3常任委員会が1日ずつ、3日にわたり審査を行いました。(8～10ページ)

3月25日(金) 議会最終日 37議案可決・意見書採択

3常任委員会での議案審査内容と結果が報告され、賛成・反対の討論後、すべての議案が可決されました。(20～21ページ)
また、追加の議案4件が上程され可決されました。
意見書1件を採択し、国会などに送付しました。(19ページ)

Pick up 1 自治基本条例制定事業の進捗状況は？

Q 現在までと今後の進め方は？

A 現在までに市民で構成する市民会議15回、庁内組織の中の作業部会7回を行い、今後は条文の形を整えていく作業を進める。

Q 具体的な案はいつ議会に示されるか？

A 条例を制定する必要があると判断されれば、今年7月ごろに示す。またパブリックコメントを経て、条例案を11月議会に提出したい。

Q 市民への周知と課題として考えられることは？

A 周知については今後も行い意識の向上に努め、課題としては最高規範性や住民投票等が挙げられ、市民会議などで検討していく。

Pick up 2 シティプロモーション推進事業とは？

Q 680万円の予算で具体的に何をするのか？

A 島田市緑茶化計画というブランドメッセージとロゴを普及させるため、海外・国内・市内の3つの戦略に沿った事業展開する。全体として企画プロデュース集団と業務委託契約し、次の3ワークショップを開催する。

①ブランド茶構築のため、茶業関係者とブランディングの考え方の整理作業
②コンセプトブック作成の検討作業

③ロゴを使った商品開発や展開方法の検討

その他、市の関係各課が、それぞれの事業でロゴ等を活用していく。

Pick up 3 地域支援事業費の増額の理由は？

Q 増額の理由は何か？

A ①法改正で、要支援認定者の訪問・通所介護が新総合事業へ移行
②要支援認定者以外でも簡単な判定で訪問・通所介護が利用でき、利用者増加の見込み

③デイサービス事業に係る事業費の計上

④利用者増加に伴うケアマネジメント費の増加

Pick up 4 過疎地域自立促進計画とは？

Q どのような計画で窓口はどこか？

A 島田市総合計画を上位計画とし、合併時の島田市・川根町まちづくり計画の達成を図るもので、取りまとめは地域生活部地域づくり課担当は各所管課である。支所は連絡調整の役割を担う。

Q 地元開催の国際陶芸フェスティバル等との行政の関わり方は？

A 事業運営に要する経費への助成やイベントの人的支援など、地域と実施団体と連携して取り組む。

Q 子育て世代型住宅退去後の宅地整備はどうしていくのか？

A 市営住宅の跡地などの市有地を、住宅地として活用していく。道路などの基盤整備を実施し、民間の開発がしやすい環境を促進していく。

平成28年度 島田市会計予算を可決

これに注目!!



皆さんの税金はこうに使われます

一般会計予算

363億3,300万円

総 額

760億7,033万円

平成28年度に島田市が行う事業の予算案が市長から示されたので、3月11、12、15日の3日間に開催された3つの常任委員会で予算案を審査し、「可決すべき」と決しました。(P 8～10)

これを踏まえ、本会議最終日には予算案を原案どおり可決し、皆さんの税金の使い道が決まりました。その一部を紹介します。

総務費 40億5,816万円

地域おこし協力隊派遣事業	1,179万円
市民会館解体事業	2億2,170万円
教育委員会移転経費	1,950万円



地域おこし協力隊

地域おこし協力隊派遣事業

地域おこし協力隊員は活動地域内（川根地区・伊久身地区）に居住し、地域の活性化、地域おこし活動を推進します。

土木費 41億1,289万円

内陸フロンティア推進区域整備事業	9,348万円
賑わい交流拠点整備事業	2,584万円
牧之原公園整備事業	4,600万円



牧之原公園

牧之原公園整備事業

日本夜景遺産に認定された牧之原公園を整備し、トイレの建て替えやベンチの改修をします。

※千円以下切り捨て

民生費 117億8,693万円

児童手当扶助費	16億2,080万円
民間保育所施設型給付費	15億2,736万円
結婚支援事業	390万円



マリッジガイドブック

結婚支援事業

島田を知ってもらい住んでもらうために、独身の男女を対象に出会いの場を提供します。

農林業費 10億8,521万円

がんばる認定農業者支援事業	2,000万円
茶業振興事業	2,671万円
木材需要促進事業	2,730万円



茶園での機械摘み

茶業振興事業

島田市の特産であるお茶の振興を図るために改植や機械整備や団体への補助を行います。

教育費 38億15万円

川根体育館非構造部材耐震化事業	5,159万円
島田球場改修事業	2,610万円
旧学校給食共同調理場解体事業	1億143万円



旧北部学校給食調理場

旧学校給食共同調理場解体事業

新学校給食共同調理場完成に伴い、旧調理場（東部、西部、北部、金谷）を解体します。

商工費 7億1,845万円

島田大祭事業費助成金	3,650万円
パラグライダーパーク整備事業	430万円
川根温泉メタンガス利活用事業	1億8,744万円



秋田県のメタンガス利用発電施設

川根温泉メタンガス利活用事業

川根温泉から出るメタンガスを利用して小規模な発電施設を作ります。

特別会計 225億7,753万円

国民健康保険事業特別会計	113億9,318万円
介護保険事業特別会計	83億7,459万円
後期高齢者医療事業	10億8,067万円
その他5特別会計	17億2,908万円

企業会計 171億5,979万円

水道事業会計	16億6,141万円
病院事業会計	154億9,838万円

※千円以下切り捨て

常任委員会報告

島田市議会には3つの常任委員会があり、議員は必ずいずれかの委員会に属し、議案審査に当たります。2月定例会の議案審査の概要は次のとおりです。

厚生教育常任委員会

子育て支援をわかりやすい愛称にして

業務の違いを明確に！

平成27年度 一般会計補正予算

●生活保護扶助費

Q 生活保護対象者の現状は、対象者は平成27年12月1日現在242世帯312人で、当初見込みより、16世帯12人の増である。

A 対象者に対する様々な経費の増額であり、今後この傾向は続くと考えてる。

平成28年度 一般会計予算

●児童福祉総務費

Q 子育て支援は複数あるが、支援内容の違いがわかる名称にならないか。

A 国の名称にこだわらず、広報等で利用者にわかりやすい愛称を募集し、子育て支援窓口の違いを明確にする。

●子ども・子育て支援費

Q 地域型保育給付事業により、待機児童が解消されたか。

A この事業だけでは、待機児童の解消にはつながらない。保育所の新規設置を準備している。

平成28年度 国民健康保険事業 特別会計予算

●医療費適正化推進事業

Q ジェネリック薬品の効果および医師の対応は。

A 島田市民病院はジェネリック薬品の処方を推進しているが、医師の個々に対する処方権まで縛るわけにはいかない。医師と患者との信頼関係の中で行っている。

平成28年度 介護保険事業 特別会計予算

●認知症初期集中支援事業

Q 事業の内容は。

A 認知症の早期診断・対応を支援する事業である。サポート医1人、専門職2人、最低限3人によるチームで、平成28年10月に設置する予定である。



子育てコンシェルジュと母子保健コーディネーター



保健福祉センターはなみずきへご相談を！

新東名島田金谷インター周辺

まちづくり構想の実現に期待！

平成27年度

一般会計補正予算

●産業支援センター

(おびサポ) 運営事業

Q 平成28年度に開設するセンターの役割は。

A 島田商工会議所・島田市商工会、地元金融機関とオール島田で連携を執り、中小企業を支援し、産業の活性化を図る。

平成28年度

一般会計予算

●蓬萊橋お休み処^{どきろ}整備事業

整備事業の内容を伺う。

A 休憩所兼物産販売店舗の設計管理委託料である。

民間主体のミズベリノグ協議会を設置し、施設のあり方・場所・規模・運営方法等を決定・設計する。

早期に方向性を見出すことができれば、早期に設計を発注し、早期に着工できるようにしたい。

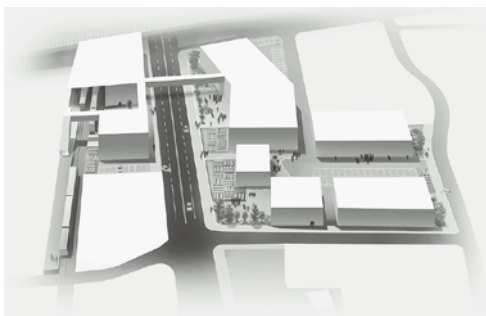
●賑わい交流拠点整備事業

Q 新東名島田金谷インター周辺地区の基本計画委託料は、内陸フロンティア推進区域の開発にも関係しているとの解釈でよいのか。

A 新東名島田金谷インター周辺地区の基本計画委託料は、内陸フロンティア推進区域の開発にも関係しているとの解釈でよいのか。



4月12日(火)に開所した「おびサポ」
(島田信金本店立体駐車場2階)



I C周辺賑わい交流拠点イメージ図

A

両方とも地域の未来を描いた「新東名島田金谷インターチェンジ周辺まちづくり構想」に基本的に位置付けられ、その具現化を図る事業である。

市としても重要なプロジェクトとして位置付け、一緒になって進めていけば相乗効果も図れると考える。

市有財産の県への譲渡
(お茶の郷博物館)

Q 譲渡していくに残るのか。

A 譲渡額は4億2877万1000円である。今回の県有化で、譲渡額から補助金起債残高・補償料・指定管理料等全てを差し引いて、2273万6000円が残る。

Q お茶の郷を譲渡する関連で、旧金谷中学校跡地の整備について、建物などの上物は県で、周辺整備等は市でやるという確約はされているのか。

A これまで把握している中では、引き続き上物は県土地は市ということ、それについて県から白紙にという話は無い。

合併特例債事業の現状と今後の予定は？

平成28年度 一般会計予算

●電子自治体推進経費

Q 事業の内容、および超高速インターネットの普及について伺う。

A 未整備地域へのアンケートを実施するとともに、大手だけでなく、幅広く事業者を探す。

●合併特例債事業

Q 現在までにどの程度使われているのか。

A 平成19年度が初年度であり、平成28年度借り入れ予定までを含め69億3210万円である。これに平成22年度に創設した地域振興基金が18億3600万円ほどあり、合計で87億6800万円となる。



シティプロモーションは、まずはPR

Q 限度額は196億円と聞いているが、病院建設を踏まえた合併特例債の予算の組み方はどうなっているのか。

A 現時点で予定している事業のほか、新病院建設事業への出資金に55億6000万円を基本計画の中で示している。これらを合計すると132億1600万円程度となる。

●シティプロモーション 推進事業

Q 市として市民にシティプロモーションの意味合いをどのように理解してもらうのか。

A 「お茶のまち島田」をメインに一体感のあるものにして、地域が盛り上がりつつ、お茶以外のものでも反映していくという狙いがある。

まずは、PR・普及に努め、市民に知ってもらった場を広めていきたい。

●市民会館解体事業

Q 解体後は駐車場になるとのことだが、市民への説明はどうなるのか。

A 駐車場もしくはイベントスペースは、あくまでも暫定的な整備と考えている。



市民会館が解体された後の土地は？

市民病院の事業費を見ながら、平行して将来像を早く示せるよう努力していきたい。

この他、土地取得事業特別会計予算、行政不服審査法施行条例など全12件の議案の審査を行い、いずれも原案のとおり可決すべきものと決した。

市長に質す^{ただ}！

一般質問

Q & A

市の方針や市民の皆さんの生活に関する大切な内容全般について、市議会議員が市長や執行機関に一般質問を行います。

島田市議会的一般質問は各定例会で実施する個人質問のほか、2月定例会に限り4つの会派代表者による代表質問を実施しています。

4人の代表質問（1人は包括方式、3人は一問一答方式）と、12人の個人質問の一部を紹介します。

一般質問は2方式から選択

①包括方式……議員がまとめて3回まで質問を行い、市長等もまとめて答弁を行います。代表質問では40分以内、個人質問では30分以内で質問を行います。

②一問一答方式……議員の質問と市長等の答弁を、一つつつ交互に行います。代表質問では60分以内、個人質問では50分以内で質問と答弁の双方を行います。

《本会議の動画は、インターネットの録画配信で！》

島田市議会 映像

検索

パソコンでも、スマートフォンでも見るができます。

代表質問

染谷市長の目指す
都市ビジョンとは？



きょうどう島田
ふくだただお
福田正男 議員

Q 市長の目指す都市ビジョンとは何か。

A 私が目指す都市ビジョンは、「安心実感都市、信頼されるまちの実現」であり、マニフェストの中で示している。

Q 今年は、市民会館の解体が予定されている。市役所ももう50年以上たっている。プラザおおるも30年以上経過している。

A この地域のランドデザインを、早く市民の皆さんに示すべきではないか。

A 今決めていることは、当面の間この市役所を使い続けることと、市民会館を更地にするのである。

Q 市役所と市民会館との合築の考えはないのか。

A 市民の皆様には、「この市役所を建て替えるときには市民会館を合築することを、そのときにそれが本当にその時代にも必要で

あるかということと併せながら検討する」ということは既に話している。

Q 2020年の東京オリンピックの合宿誘致について、卓球の種目でシンガポールに事前に働きかけていくとのことだが、スケジュールはどうか。

A この4月に副市長がシンガポールの行き、ナショナル・チームの監督とコーチに会うことになっている。



築50年が経過した市役所庁舎

代表質問

市長の施政方針を問う



桃李の会
よこたがわまさこ
横田川真人 議員

Q 大井川流域、特に川根本町との連携はいかに。

A 川根本町や大井川鐵道と連携を図りながら、観光客のニーズに合った観光ルートを構築し、大井川流域の観光客誘致に努めていく。

Q 「市民の声」をどのように聞いたか。

A ゆめ・みらい百人会議や女性議会、市長と語る会、車座トークなどがあげられる。

Q 「透明性」とは何を指すか。

A 情報開示と会議の公開をしている。

Q 「広域行政」の取り組みは。

A 行政区域をまたぐ課題に広域で取り組み、志太3市や中部5市2町という生活圈・経済圏を一つにする枠組みを尊重し、観光振興や雇用対策を進めている。

Q 「選択と集中」とは何か。

A 起債残高を圧縮し、基金を積み立てることだ。

Q 「安心安全」のために何をするのか。

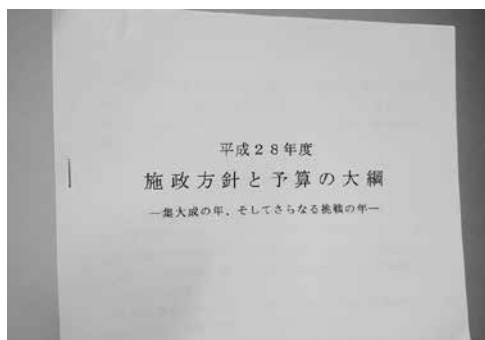
A 消防広域化、新病院建設推進、待機児童の解消などがあげられる。

Q 「経済対策」はどうするか。

A にぎわい交流拠点の整備や産業支援センターの設置を行う。

Q 「次世代につながる地域づくり」とは何か。

A シティプロモーションや市民と行政の協働を進める。



平成28年度施政方針と予算の大綱

代表質問

新病院建設事業化は慎重かつ着実に



しまだ
むらた ちづこ
村田千鶴子 議員

Q 多くの市民から不安の声が聞かれる軟弱地盤の地質調査は、予定地周辺の道路はやらないのか。

A 敷地外の道路の調査予定は無い。道路の陥没や液状化で病院に行けなくなるのではと懸念されるが、災害拠点病院としての立地は大丈夫か。

Q 道路警戒の中で対応し、県および国と密に連携している。

Q 病院経営収支と財源確保の見通しは。

A 平成39年度までは医療機器の減価償却費や企業債の償還利息の増加により赤字だが、以降は黒字に転じる見通した。

財源は病院事業債および合併特例債の活用を計画している。

Q 上限247億円（全体の2分の1を病院事業会計で負担）を超過した場合は、どうするのか。

A 今後の基本設計の中で工夫して、限りなく縮減していきたい。

子育て支援更なる充実を

Q この4月に開設する「子育て世代包括支援センター」とは。

A 専任の保健師を配置し、妊娠期から出産・子育て期にわたる総合的な相談支援の窓口で、保健福祉センター1階に設置。

Q 「さわやか子育て支援金」を望む声があるが、復活の考えは。

A 今は、少子化対策を重点に産み育てやすい環境を整備する施策に変更し、復活は考えていない。



子育て世代包括支援センター窓口

代表質問

施政方針と 反する施策を問う



創造島田
やぎのぶお
八木伸雄 議員

Q 伊久美・北五和・上相賀・千葉・川根などの山間地では、通勤・通学・通院などにも苦勞している。コミバスの減便、道路管理のすぐやる係撤退など、財政健全化と経費の削減の名の下に、山間地がなおざりにされている。

A 地域包括システムの構築など、地域の高齢者を見守る体制をとっている。

Q 市道の危険個所が放置されたまままだ、道路の整備不良による賠償が続けて3件起きた。職員体制・予算はどうか。

A 予算も人員も足りている。予算も人員もあり、事故があるのはおかしい。道路管理不備だけでなく、障害者の作業所「うたしあ」に何の支援もなしに立ち退きを迫っている。支援や猶予を与えるべきだ。

Q 民間ということでも障害者の施設だ。

A 民間ということで、支援はできない。

Q 民間ということでも障害者の施設だ。



対策が望まれる市道雲見線

施政方針や福祉大会での発言と全く異なる。一方で、保育園・幼稚園を民営化し、人件費が削減されるべきところが、市組織が拡大し、人件費が増加している。

A 業務量に対応した結果だ。借金は他市と比較しそれほど多くない。むしろ貯金は多い。投資的事業に取り組み、市の経済活性化を目指すべきだ。

Q 財務局から「市の財政は健全である」との評価を受けている。

A 目的のある所は設置していく。高齢化が進む地区では、バス路線を切望する声があがっている。福祉予算を費用対効果で考えてはいけない。対策を。

Q バス路線以外で支援する。静岡の山間地では、住民が高齢者を買収し物や病院に連れて行く取り組みがある。

A 似た取り組みを伊久美で検討中。ガソリン代などの支援を考える。大地震の直後、住民は何をしてから避難すべきか。また、避難訓練でそれは実行できているか。

Q 大地震の直後、住民は何をしてから避難すべきか。また、避難訓練でそれは実行できているか。

A 似た取り組みを伊久美で検討中。ガソリン代などの支援を考える。大地震の直後、住民は何をしてから避難すべきか。また、避難訓練でそれは実行できているか。

個人質問

まことの安心 安全を確保せよ!!



あおやまささとら
青山真虎 議員

Q 街灯（防犯灯）の設置が住民要望に追いついていない。対策を。

A 要望の提出方法を、周知していきたい（自治会から市に提出）。藤枝市から島田市に入ると一気に暗くなり、全国的に犯罪が多い市境での防犯対策は課題だ。そんな折、東町で強盗事件が発生。過去5件目であるが、東町御請線道路工事費の国の補助金で街灯設置をしていただきたい。

Q 目的のある所は設置していく。高齢化が進む地区では、バス路線を切望する声があがっている。福祉予算を費用対効果で考えてはいけない。対策を。

A バス路線以外で支援する。静岡の山間地では、住民が高齢者を買収し物や病院に連れて行く取り組みがある。

Q 似た取り組みを伊久美で検討中。ガソリン代などの支援を考える。大地震の直後、住民は何をしてから避難すべきか。また、避難訓練でそれは実行できているか。

A 似た取り組みを伊久美で検討中。ガソリン代などの支援を考える。大地震の直後、住民は何をしてから避難すべきか。また、避難訓練でそれは実行できているか。

Q 大地震の直後、住民は何をしてから避難すべきか。また、避難訓練でそれは実行できているか。

A 似た取り組みを伊久美で検討中。ガソリン代などの支援を考える。大地震の直後、住民は何をしてから避難すべきか。また、避難訓練でそれは実行できているか。



防犯対策とにかく街灯。2008年コロンビア

その他

- ・市民会館の再建
- ・リニア渇水の補償

A ガスの元栓を閉める等だが、十分できている認識はない。前計画より100億円アップの新市民病院建設予算や、療養病床ゼロであるが、どの世代のための病院と考えればよいか。あらゆる世代のためだ。ただ、長期の入院はかなり厳しい。

個人質問

放課後児童クラブ 待機児童解消策は



いとう たかし
伊藤 孝 議員

Q 平成28年度の放課後児童クラブ待機児童数は。

A 平成28年度は申し込み児童数が予想を超え、125人の待機児童となった。

Q 待機児童125人の解消策は。

A 平成28年4月の入所に間に合うように緊急に協議を進めた結果、第四小・六合小・初倉小・五和小の放課後児童クラブで、教室や隣接施設の会議室などを借用することで、125人であった待機児童を41人まで減らす見込みである。

初倉南小・第一小は、拡張工事をして増員をしていく。

NPO法人「空と大地」・月坂保育園等、法人の空きスペースを使用し、放課後児童クラブを設置しようと協議を進めている。

子供関連施設

指導員の確保に苦慮

Q 「保育士が足りない」という安



待機児童が発生した初倉小児童クラブ

倍首相の国会答弁もある。今後、保育士の給料が上がって、放課後児童クラブの指導員が保育園に転職すると、放課後児童クラブ・児童センター等の職員が足りなくなる恐れがある。今のうちから対策を考えておく必要があるが。

A 子育て関連にかかわる職員・スタッフの募集に、全力を挙げていく。

個人質問

浜岡原発の再稼働は ストップを！



さくらい ようこ
桜井洋子 議員

Q 島田市を含めたUPZ（緊急時防護措置区域）31km圏内5市2町、県および中部電力との安全協定締結はいつになるのか。

A 協定案の最終調整の段階だ。市民の安全確保と市民に対しての説明責任を果たせる内容になるよう、懸命に努力している。

Q 浜岡原発再稼働についての地元の同意についてどう考えるか。

A 島田市長としても、UPZ圏内全ての自治体が了解することがよいと発信している。

Q 川内原発・高浜原発では、県と立地自治体だけの同意で再稼働し、住民が置き去りにされている。

浜岡原発の再稼働に対しての市長の見解を伺う。

A 現在、浜岡原発が運転停止していても電力供給量は足りている。何より懸念される過酷事故に対して、住民の安全が確保されていない中で、再稼働を認めることはできない。

高い国保税の引き下げを！

Q 「加入世帯の所得は低いのに、国民健康保険税（国保税）が高い」と市民から悲鳴が上がっている。滞納世帯数は1割にもなり、制裁措置の資格証明書は31件だ。一般会計の繰り入れや支払い準備基金の活用で、国保税を引き下げるべきだ。

A 一般会計の法定外繰り入れや基金の活用は考えていない。



実効性ある原子力災害広域避難計画とは？

個人質問

特種東海製紙(株)横井工場 跡地の活用を



もり しんいち 議員

Q 市は特種東海製紙(株)横井工場の跡地について、今後どのようなまちづくり像を考えているか。

A 平成24年秋ごろから相談を受けており、その後も不定期ではあるが、継続的に情報交換を行っている。

民間の土地であるため、企業の意向が第一と考えているが、まちづくりを進める上で重要な場所であると認識しており、地域活性化につながる土地利用を期待している。

Q 横井工場内にある歴史的建築物の文化的意義について、市はどのように考えているか。

A 大正時代の赤レンガ倉庫は損傷が激しく、改築等により建設当時と形態が変容している。貴重な建物ではあるが、紡績所としての遺構の価値は低いと考える。

Q 会社の考えはどうか。

A 三澤社長からは「あの土地は売るつもりはない。企業を退職された後の方も働けるような物を造りたい」という意向を聞いた。

Q 住宅地・大学誘致の場所・他の工場用地など多くの選択肢が浮かぶが、今後の協議の見通しは。

A 企業からは「今年の秋頃に操業を停止して、当面は倉庫として利用していく。今後の計画はこれから検討する」と聞いている。



特種東海製紙(株)横井工場の赤レンガ倉庫

個人質問

「まちづくり」の 見える化は？



さの よしはる 議員

Q 人口減少と厳しい財政状況を踏まえ、市は公共施設の維持や更新のため、財政負担の平準化を念頭に、公共施設再配置計画を発表する旨の説明があった。いつ、どのような形で行うか。

A 保有量の適正化に関しては、具体的に施設名を挙げた統廃合の計画発表の段階に至っていない。再配置について市民に見える形の評価基準を示すなど、これからについて、市役所内に設けた「資産経営会議」で進める。

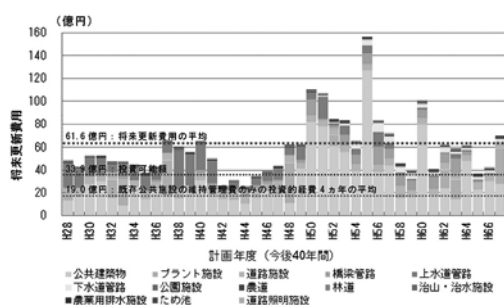
Q 人口減少が進む中、市は平成25年度、合計特殊出生率の推計値は1・48にもかかわらず2・07と定め、さらに平成32年度には社会移動の均衡を図ると発表した。その算出根拠、例えば何組の夫婦が何人産むとか、転出をいかにして阻止するかなど、施策とそれを裏付ける財政措置策は。

A 実績に基づいて積み上げた計画でなく、あくまで目標値と仮定

した人口推計であって、現段階で施策と予算措置はない。

Q 緑茶化計画を下支えする茶農家の経営状況は瀕死状態にあり、茶産地としての知名度も低い。国内外に島田市を広く知ってもらうため、例えば「富士山静岡茶(島田)」のような県下統一ブランドを立ち上げて、茶業界の発展が図れないか。

A 市長会で提案する。



公共施設等の修繕・更新費用の将来推計！

個人質問

内陸フロンティア推進の 加速化を！



しみずただし 議員

Q 新東名島田金谷インターチェンジ周辺整備の課題は。

A 国営大井川用水農業水利事業の受益地として農振地域の農用地となっているため、農振除外を実現することが必要。

Q 農振除外に必要なことは。

A 企業立地する確実性と市の確固たる姿勢が問われる。

Q 農振除外を含む基本的計画は。

A 県から技術的支援を得ながらゾーニングを具体的に決めていく。

Q 企業誘致の民間協力策は。

A 大手ゼネコンとの情報交換を頻繁に実施している状況である。

Q にぎわい交流拠点の整備詳細は

A 大井川農業協同組合、大井川鐵道(株)、中日本高速道路(株)と島田市との官民連携で、大井川流域の観光拠点機能を持つ施設整備と駐車場や周辺の道路など基盤整備とのことだが、期待される効果は。

A にぎわい拠点の相乗効果として、雇用などの地域貢献を期待する。

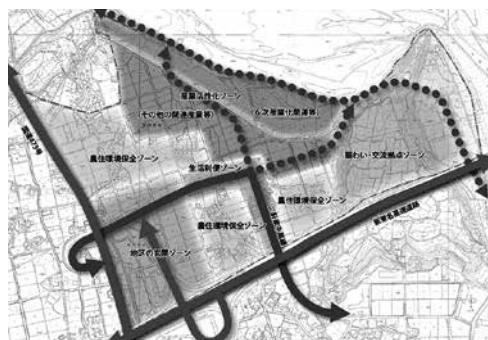
金谷庁舎跡地利用は考慮を

Q 教育部の移転時期と、付属施設を利用する福祉団体の対応は。

A 平成29年1月から2月中旬までにおおるりに移転する。福祉団体の移転先確保は、担当課が協議し、責任を持って対応する。

Q 福祉団体移転に対する配慮は。

A 利用者への通所サービスが途切れないことを最優先し、通所可能な場所を事業者と協議する。



活性化が期待される内陸フロンティア推進区域

個人質問

インター周辺の賑わい創出 始動！



すぎの なおき 議員

Q 市から大井川農協(JA)、大井川鐵道、NEXCO(ネクス)

コ 中日本の3者へ連携を呼びかけた理由は何か。

A 国道473号4車線化と、大代ICフルインター化に伴い、JA五和支店の一部が道路用地となるため、JA大井川が五和支店の移転を検討していたこと、無料駐車場やSL撮影場の整備を模索している大井川鐵道と考

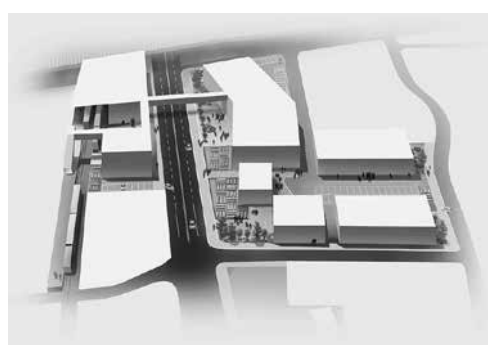
え方が一致したこと、NEXCO中日本はIC周辺の地域活性化に力を入れていることから、連携を呼びかけた。

Q 4者が整備する施設はどこで、全体的にどのような施設を予定しているか【イメージ参照】。

A 上が南、右が西、南北の4車線道路は国道473号で、JAが進出する部分は右側である。JAの話では地場産品を集めた農産物マルシェ、海産物マルシェ、全国JAの魅力ある品を集めた物販所を造りたいと聞いている。

また、JA五和支店の機能が移るということも聞いているが、JA側の計画の中でこれから検討される。

左側部分ではレストラン、カフェ、製茶工場、駅舎、SL関連グッズを販売する。構想では引き込み線を作り、SLを見ながらお茶が楽しめる場所を作りたいと聞いている。



2月に新聞発表されたイメージ

個人質問

手揉み茶の技術は、 茶文化のルーツだ！



なかだ ゆうこ 議員
仲田裕子

Q 二元代表制の関係の中で、議員は市民の代表であり、行政を監視チェックすることは重要な仕事である。また、市民に選ばれた市長とは議論を重ね理解した上に協力が生まれると考える。このことを鑑み質問する。

A 定めた。本市でもどうか。民間から要望があれば、作ることはできると考える。

理事の権限および業務は！

Q 平成28年度、庁内に理事を置く。聞くが、権限と業務内容とは？

A 個別の決裁権限は有さず、特定の部には属さず、総合計画および総合戦略等、横断的な指示、指導、調整等を行う。

A 金谷庁舎へ支所機能を一本化して職員数を削減し、人手不足を補うことを考えている。

Q 「お茶の郷」県有化に鑑み、茶文化のルーツである、手揉み茶保存会の実演や体験を継続させるスペースを確保することは重要である。県と協議されたか。

A 県から、「前向きに検討する」との返事は聞いている。

Q 福岡県うきは市は、「お開きは、うきはのお茶で乾杯条例」を制



ご夫婦で手揉み茶体験を楽しむ様子

個人質問

川根温泉ホテルの 今の様子は？



やまもと たかお 議員
山本孝夫

Q 川根温泉ホテルは地元雇用促進も目的のひとつで、計画時には雇用80人であったが、現状はこれを満たしていない。なぜか。

A 指定管理者の提案雇用者数より多いが今後ホテル稼働率が上がれば雇用も増加すると期待する。

Q 温泉施設は条例に沿って運営され、市長の許可を得れば変更や改装は可能だが、議会が知らぬままこれらが行われた。

A 一つ目は温泉利用時間で、ホテルは一ランク上の満足度の高いサービスを提供しリピーターを増やさなければならぬのに、計画時から変更し、宿泊者以外の一般客の利用を、朝から夜まで混雑しても、利用可とした。宿泊客の満足は得られないと思う。なぜ変えたのか。

A 日帰りでのレストラン利用者の入浴希望があり、変えた。

Q 二つ目は、リラクゼーションルームが一般大衆食堂に改装されたことだ。なぜか。

A リラクゼーションルームの利用が少なかった。

Q 独自の切手でPR

Q 島田市には多くの観光資源があり、オリジナル切手を作り島田市をPRできないか。緑茶化計画にも利用はどうか。

A 費用はかかるが、シティプロモーションとして島田を宣伝することは検討する価値はある。



オリジナル切手の作成PRパンフレット

個人質問

緑茶化計画で 茶業振興が図れるか？



そねよしあき 議員
曾根嘉明 議員

Q 緑茶化計画と茶業振興を、どのように連動させるのか。

A 緑茶化計画は島田市のブランドメッセージであり、国内外にアピールしていくもので、本市の茶業振興につなげていかなければならない。

新たに海外輸出を目指した施策などを展開し、従来の茶業振興事業も計画と関連性を持たせて実施する。

Q 茶業振興協会が海外見本市出展後の販路拡大に向けた施策は。

A 出展については、会員の中から輸出に対応できる出展者を募集する。

バイヤーと取引を行えるようになっていただき、まとまった量を輸出できる体制ができるよう、日本貿易振興機構などと連携しながら支援していく。

Q お茶がいくら輸出されても、農家の所得が増えないと、何の意味が無い。緑茶化計画をしっかりと進めてほしい。



お茶は島田市の誇りであり、守るべき産業

A 市の施策の重点課題として海外輸出をしていく方針がある。国内での需要と供給のバランスが崩れているので、供給過多の部分を輸出に回して、需要が増えれば茶価が上がり、農家の所得が増えると考えている。

Q 島田市の抹茶生産状況は。

A 家山地区に、輸出向け有機栽培の製造加工販売会社が設立されており、輸出先については、EU・アメリカ・シンガポール・台湾ほかを考えている。

個人質問

後世に伝えよう 島田の伝承文化



ひらまつよし のり 議員
平松吉祝 議員

Q 島田市は大井川を挟んで兩岸に栄えた東海道川越文化発祥の地である。大祭、^{まげ}齋まつり、茶まつり、蓮台越し、鹿島踊り、猿舞など地道にコツコツ積み重ねる伝承文化の継承活動や友好活動は、やがては社会の平和や安定につながる。全国発信、世界発信の現状はどうか。

A 市や観光協会のホームページ、フェイスブック等において情報発信している。

Q インターネット動画での伝承文化の情報発信はいかがか。

A 来年度、ソフトを購入予定。職員も採用し動画を作成していく。

Q 川越文化の保存体制のさらなる強化はどう考えるか。

A 蓮台越保存会などの民間団体とさらなる連携強化を図っていく。

Q 観光事業との連携による新たな活性化策は。

A 文化的観光資源として活用できるように検討している。

Q 子どもたちや市民に伝承文化や



「蓮台越し」も島田の文化遺産

A 観光事業を教示する場を。博物館を考えている。

消防の広域化に期待

Q 消防の広域連携は「市民の生命や財産を守る」という重要な使命がある。島田市として期待されるものは。

A 災害に対する初期態勢が強化され、早期に効果的な活動が展開できる。様々な災害に幅広い対応が可能となる。

個人質問

過疎地域対策に 熱意が感じられない



おおいしせつ お
大石節雄 議員

Q 施政方針の中で、中山間地域・過疎地域に対する思いが見えてこない。生活環境に格差のある地域で生活している人も、社会的に弱い立場の市民ではないか。

A その通りと認識している。市民が住み慣れた地域で安心して生活できる社会を実現し、地域間交流が活発化されるよう、過疎地域や中山間地域の振興に関する地域の要望に耳を傾けている。

Q 昨年健康プラザへの温泉配送を止め、利用者が3分の1になった。高齢者の居場所づくり・住民福祉の増進に逆行するのでは。

A 健康プラザは、温泉が届くところと届かないところがあり、公平性の問題がある。また利用者が固定化するなど、費用対効果でも同様である。

Q 家山駅の足湯を休止した理由は、家山駅の足湯は一時お湯を止める。今後家山駅周辺をどう変えていくか、住民と一緒に考えてい。

い。



再編が期待される大鐵・家山駅周辺

市内全域に光通信網を

Q 国も県もブロードバンドを国内全域に整備しようと、様々な補助政策を提案している。島田市内はまだ全域に整備されていない。市長の考えを伺う。

A 国土交通省の担当課に話をして、様々な課題がある。これぞという1点にはまだ至っていないが、今後も引き続き力を入れて検討していく。

意見書1件を採択しました

地方議会は、その自治体の公益に関することについて、国会や関係省庁などに意見書を提出することができます。
2月定例会では意見書の提出1件について採択し、次の4点を要望する意見書を国会と関係省庁に送付しました。

若者も高齢者も安心できる 年金制度の実現を求める意見書

- 1 全額国庫負担の「最低年金保障制度」を早期に実現すること。
- 2 年金の隔月支給を国際水準並みに毎月支給に改めること。
- 3 年金支給開始年齢をこれ以上引き上げないこと。
- 4 年金を毎年下げ続ける「マクロ経済スライド」を廃止すること。

※提出した意見書の全文は、市議会のホームページまたは市役所の情報公開コーナーで見ることができます。



ザッ 討論



市議会定例会最終日に行なわれる議案採決の前に、賛成・反対の意見を議員が相互に表明する「討論」を行います。

2月定例会では、2議案について延べ5人の議員が賛成・反対の意見を表明し討論を行いました。

【議案第20号】平成28年度一般会計予算

反対

リニア中央新幹線工事の影響について、河川流量や水質調査の予算が無く、先日の議会では「静岡市を中に入れないと企業側とは話ができない」旨の答弁があった。しかし、まだ終わっていない問題であり、水の保障が担保されないまま若い世代にバトンタッチしていくと言われても困る。

また地域環境で大切なことのひとつに「山の環境」があるが、間伐等の整備予算が年々減額しており、この3年間の間伐ペースでは健康な山に戻すまであと50年かかる。日本中でピンチだからこそ、林業も地方創生のチャンスではないか。若手林業家の育成を強化し、間伐材を含めた大井川産材の需要を掘り起こすべきだ。

賛成

市税について、経済情勢を的確に捉えた税収の見積もりがなされている。また、市債を削減し、財政の健全化を進めていく姿勢は評価できる。繰入金についても、今後の大規模投資を見据えた堅実な予算編成である。

歳出についても、内陸フロンティア推進区域整備事業、消防救急広域事務委託や待機児童対策、川根温泉メタンガス利活用事業など、中長期的な視点からまちづくりや地域経済の活性化を図る経費が計上された適切な予算編成である。

以上の点から、平成28年度島田市一般会計予算に賛成する。

反対

反対の理由の第一は、市は、コスト削減と称して「官から民へ」と公務の市場化を進め、公立のかわね保育園を平成29年度から民営化するための準備を進めているが、容認できない。共働き家庭が増え、保育需要は増すばかりだ。待機児童対策が急務な時、公立保育園の果たす役割は重要だ。民営化はストップすべきだ。

第二は、人件費を抑えるため、正規職員を減らす一方、全体の4割以上を占める非正規職員を増やすやり方は問題だ。公務員は市民全体の奉仕者として、中立・公平・適正に業務を行うことが求められ、身分の安定と保障が必要だ。

正規職員の増と非正規職員の待遇改善を求める。



民営化準備が進む かわね保育園

【議案第28号】平成28年度後期高齢者医療事業特別会計予算

反対

反対の理由は、医療費の増加を理由に、後期高齢者医療保険料の引き上げのもとでの予算であるからだ。

4月から、保険料の所得割率が7.57%から7.85%に、均等割額が3万8,500円から3万9,500円に引き上げられる。その結果、1人当たりの保険料の平均額は年間では6万2,102円となり、前年度比で1,200円もの負担増だ。少ない年金で生活は限界だ。

後期高齢者医療制度は、75歳以上になると別枠の医療制度として強制的に加入させられ、高齢者が増え医療費がかかれば際限なく保険料が引き上がる仕組みだ。

問題だらけの差別的な制度は廃止し、もとの老人保険制度に戻すべきだ。

賛成

平成20年4月から開始された75歳以上の後期高齢者医療制度を適正に執行するために、静岡県後期高齢者医療広域連合議会で十分に審議、議決された内容であると理解する。

2年に1度実施される保険料率の改定も、被保険者数の増加や1人当たりの医療費の上昇、また高齢者負担率が引き上げられ現役世代の支援金が減少する中、診療報酬のマイナス改定や平成27年度末剰余金を財源として計上するなど、高齢者の負担軽減に極力配慮された内容であると認識し、賛成する。



島田市民病院の計算窓口

【採決結果一覧】賛成・反対が分かれた2議案を掲載しています

○=賛成 ×=反対	氏名	山本孝夫	森伸一	伊藤孝	福田正男	杉野直樹	横田川真人	佐野義晴	仲田裕子	大石節雄	村田千鶴子	曾根嘉明	平松吉祝	清水唯史	藤本善男	八木伸雄	青山真虎	桜井洋子
	会派名	きょうどう島田				とうり 桃李の会				さきがけ 魁しまだ			創造島田			無会派		
【議案第20号】 平成28年度一般会計予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
【議案第28号】 平成28年度後期高齢者医療事業特別会計予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×

※議長（紅林 貢）は採決には加わりません。（並び順は会派ごとの議席順） ※「無会派」とは、会派に属さない議員のことです。

特別委員会の 経過を報告しました！



議会改革に関する特別委員会

「開かれた議会」を目指して

議会改革特別委員会は、昨年6月定例会にて、前年に引き続き設置された。

2年目は新たな委員構成となった。「島田市議会基本条例」に基づいた「開かれた議会」を目指し、議会改革について様々な角度から調査・研究を行うため、月1回のペースで計8回の委員会を開催した。

その結果により、下記の間接報告を行った。

今回はあくまでも中間報告であるが、議会改革の課題はまだある。市民に開かれた議会を目指して今後も調査・研究を重ねていかなければならないことも併せて報告した。

中間報告（要旨）

● 常任委員会分散開催・

試行実施の検証

常任委員会の分散開催は、開催方法としては継続することにおおむね賛同を得た。しかし、議員の傍聴の在り方と公務扱いの対応は、引き続き研究すべきである。

● 議会構成

正・副議長立候補制度の検証を行うため、実施時期を改選後に先送りせず、現在の議員の任期のうちに試行すべきとの結論に達した。

● 予算・決算審査体制の検討

今後早急に調査研究をしていく必要がある。

市議会の特別委員会等に付託された審査途中の案件について、委員長がその中間報告を2月定例会で行いました。

島田市の医療を考える特別委員会

「地域医療を守る条例」制定の 早期検討を 市に求める

この特別委員会では、島田市の地域医療の現状と医療確保のための課題と取り組みを調査研究するため、平成27年6月29日から8回の委員会を開催した。

「病院建設基本計画」、「僻地医療体制」、「医師確保のための活動」、「地域包括ケアシステム」、そして島田市地域医療を支援する会から制定の要望書が提出されている「地域医療を守る条例（案）制定に對しての対応」などの調査研究を行った。

地域医療の現状調査では、島田市医師会長の藤本嘉彦氏より、医療現場に従事する開業医として、「医師不足の現状と求められる今後の対応」、「在宅医療の課題と医療機関との連携」、「新市立島田市民病院計画の求める方向性」など

に關した意見を受けた。これにより、医療の現状と問題点を認識し議論を行った。

また、条例制定に關し、次の通り提言をまとめ議長に報告した。

提言（要旨）

制定が要望される条例の案は、市民に医療に對しての理解を求める意義深いものである。

地域包括ケアシステムなどを含め医療体制の変革が予想されるが、医療に對する理念は変わらず、条例の制定は有意義なものである。

市民全体に周知・有効な条例にするために、早急に制定を検討することを、市当局に積極的に求める。

委員会 所管事務調査

調査しました！

あのまち、このまち



次期島田市総合計画に関する特別委員会

市総合計画策定には 議会も政策提言を

次期島田市総合計画の策定にあたり、議会からの提言等を積極的に取り組んでいる岐阜県多治見市議会と岐阜県高山市議会を訪問し調査を行った。

言を行っていた。

両市議会ともに総合計画の素案の段階から積極的に関与しており、島田市議会としても、提言後の検証や審査方法について十分検討する必要があると感じた。

● 1月18日・岐阜県多治見市議会

多治見市では平成28年度から8年間を計画期間とする総合計画が策定されている。総合計画を議論するにあたって、議会側で「議員一人一提案」を募集し、委員会に取りまとめ、議長名で市長に提言していた。

● 1月19日・岐阜県高山市議会

高山市は、総合計画の策定にあたり、平成25年5月に全議員で構成する特別委員会を設置し、政策提言書という形で10項目の政策提



「議員1人1提案」で取り組む多治見市議会

所管事務調査とは？

地方議会は、市が提案した議案の審査のほか、委員会が自主的に設定したテーマによる所管事務調査を行うことができます。

議会運営委員会

北陸2市議会に学ぶ 議会運営

石川県金沢市議会と富山県氷見市議会を訪問し、議会運営についての調査・研究を実施した。

て平成26年5月に開庁した氷見市役所を視察した。

施設内は明るく開放的な空間が多く、今回の既存施設の再利用の手法は公共施設の再配置や利活用の点で参考となる事例であった。

● 1月21日・石川県金沢市議会

金沢市は、これまで年4回に区切って実施していた定例会を、平成26年より6月から翌年の3月までの年1回とする通年議会方式を採用している。運営上の課題はあるものの、年間を通しいつでも議事を開くことが可能となることで、専決処分が少なくなるなどの説明を受けた。

● 1月22日・富山県氷見市議会

氷見市では、島田市の姉妹都市の議会として、議会運営についての意見交換を行うとともに、廃校となった県立高校体育館を改修し



高校の体育館を再利用した氷見市役所

※専決処分…予算や条例などを、議会の議決を経ずに市長の権限で決めること。

「火災事故は、二度と繰り返さない」 決意を確認！

特種東海製紙(株)チップサイロ現場視察（平成28年2月9日）

平成26年12月31日に発生した火災により全焼した特種東海製紙(株)のチップサイロの再建が平成28年1月に完成し、島田市議会議員のうち14人が同社のチップサイロを視察しました。

担当者から、チップサイロ再建の概要と今後の防火体制の説明を受け、同社の事故再発防止策と安全に関する取り組みと市民の信頼回復への決意を確認しました。



編集後記

大井川の水面もキラキラ輝き、新緑と新茶の香りに包まれる季節となりました。リニューアルして2回目の発行となる“議会だより第53号”はいかがでしたか。「レイアウトもすっきりして読みやすい」という声をいただきました。まず、手にとって読んでいただき、議会の内容に関心を持っていただくよう、さらに情報発信力を高めます。“読みやすく、わかりやすく、親しみやすい”紙面づくりに努力していきます。

ご意見、ご感想をお待ちしています。



議会だより編集に関する特別委員会

- 【委員長】 桜井 洋子
- 【副委員長】 伊藤 孝
- 【委員】 杉野 直樹 横田川真人
- 山本 孝夫 森 伸一

6月市議会定例会

議会を見に行こう！聴きに行こう！

傍聴をご希望の方は、議会開催日に市議会議場（市役所3階）へお越しください。

日	月	火	水	木	金	土
5/29	30	31	6/1	2	3	4
			本会議 (初日)			
5	6	7	8	9	10	11
					本会議 (一般質問)	
12	13	14	15	16	17	18
		本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)	本会議 (議案質疑)	常任委員会 (午前・厚生教育 午後・経済建設)	常任委員会 (午前・総務生活)
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	7/1	2
		本会議 (最終日)				

☆本会議は9時30分、常任委員会は午前は9時、午後は1時30分開会です。

☆日程が変更されることがあります。ホームページ等でご確認ください。